

# The Chronological Table of Literary Report in Hokkoku News

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/7340">http://hdl.handle.net/2297/7340</a>



日	内容	日	内容
8月5日	「北国新聞発刊之辞」 小説「管見」荳圃生 12日完	2月1日	「江戶自慢」忍月綴
5	小説「管見」荳圃生 12日完	2月1日	「戯曲の価値」石橋忍月
11	「筑紫武者」東京皓水漁夫 17日完	8	「戯曲の価値」石橋忍月
24	「墨絵美人」東都金子春夢	11	「演劇島田一郎」忍月閣 脚本島田一郎 無名氏作
25	「仮名遣雑談」荳圃生	13	「くらぶ山」忍月
28	「馬鹿毛の筆のすさび」荳圃生 29日完	20	「木村長門守」弦齋居士
9月1日	「支那群雄」遮莫漫士 17日完	3	「渡守」微笑子
14	「草山生産薔薇のお花」綺語樓主人作 12・9 62回完	7	「狐狗狸さん」忍月閣 碧木作 18日完
11	「初めて読者諸子に見ゆ」石橋友吉	15	小説「紅花染」愈虐 28日未完
12	「俄分限」嵐山人	4	「俳句二評」愈虐
16	「戯曲論」石橋忍月 22日完	1	小説「皐月之助」忍月
18	「親不知子不知」東武郎 戯曲「若殿様」忍月 12・2完	2	「早瀬」チッケンス作 関幸 訳
		5	「花神の責任」悠々庵
		2	「仲左」に題す」忍月
		13	「葉越の月」忍月閣 夢野作
		15	「与志奈志語」悠々庵
		28	「美文と歴史との限界を論ず」悠々庵
		6	「享美論を論ず」悠々庵 9日完
		8	小説「東髪娘」にんげつ 7・13未完
		15	「妖物御殿」鳥焉子稿 7日完
		12	「怪物御殿」鳥焉子稿
		11	「日本詩の連声」石橋友吉
		8	小説「蓮の露」忍月
		29	「暗合」忍月
		28	「怪奴と蝙蝠」忍月居士 12・5完
		18	「審美論一斑」石橋友吉 20日完
		28	「知己に酬ゆ」忍月
		37	「知己に酬ゆ」忍月
		36	「知己に酬ゆ」忍月

明治二十六年

明治二十七年

- 7 30 「比喩談 此多難なる時代」愈虐
- 12 1 「惟任日向守」忍月居士 11日完
- 16 「この春」臥牛子 28・2・4 50回完
- 20 「骨々生に与へて」惟任日向守』を論ず」桐生愈虐
- 22 「悠々子に与ふ」骨々生

明治二十八年

- 2 1 「譬喩談三則」愈虐子
- 4 「送石橋君」赤羽万次郎
- 「松尾芭蕉の観想」秋虎子
- 「金沢と文学」得能生
- 「われから草紙」かげろふ 3・1 22回完
- 小説「京人形」悠々庵 13日 3回完
- 赤々社月次会(20句)
- 「賞鑿刀」愈虐子
- 「俳句評」六風
- 「いろ奴」枇杷園主人
- 「俳句の美」得能秋虎
- 「袖籠」加納夕がは庵
- 「木下蔭」滄浪漁父
- 「花筐」漁父
- 「俳陣戦記」愈虐
- 批評「昏中昏話」(紅葉山人の「をとこ心」)在京碧泉子
- 「黒猫」(第十)鏡花 23日 32回完
- 「姫小松」杷人樓主人稿 26日 3回完
- 「管領家」菊翁
- 「雨後の月」漁父
- 「我金沢の小説」春浅樓主人

- 9 6 「金沢の工芸美術」藤岡生
- 11 1 「不審」(廿回)洗竹居主人稿 22日 42回完
- 24 「真偽不如火奇譚」此君樓主人 29・1・25 55回完
- 12 9 「読書論」藤岡作太郎
- 18 「徳富蘇峰先生」静斎

明治二十九年

- 1 7 「初夢」忍月稿 9日完
- 26 「湖畔の神廟」静斎作
- 「斯の心」此君樓主人
- 「ゆひなづけ」(無署名)
- 3 3 「七人斬」なにがし 4・14 17回完
- 29 「花橘」蘭溪稿 6・28 75回完
- 4 15 「滞京雜記」れいいうむ (田岡嶺雲)
- 5 17 「芸妓は宜しく廃すべし」雪桜(寄)
- 21 「妙の宮」鏡花
- 6 14 「俳諧風潮之変遷」居石稿
- 20 「むら千鳥」華彦稿
- 29 嶺雲におくる(歌10首) 藤岡東圃
- 7 16 「医王関」陽浪
- 21 「小笹の露」陽浪稿 29日 3回完
- 25 「百物語」鏡花
- 26 「水野勤兵衛」浜田陽浪稿 31日完
- 8 1 「ひとつふたつ」鏡花
- 5 「幾代餅」揚名舎橋玉藤記  
青木竹次郎連記
- 8 「初もみち」(3回)蘭溪稿 11・16 60回完
- 9 3 「阿茶のつばね」 12・24 40回完
- 11 7 「萩田与三兵衛」福翁
- 12 9

明治三十年

- 1 2 「雛夫婦」糸雨（へまう） 3・9 40回完
- 3 「明治の俳家」秋竹生
- 10 「怨敵」千稻
- 16 「既仲間」糸雨 2・4 20回完
- 2 5 「慈悲」水僊 10日 6回完
- 11 「猛ちやん少尉」糸雨
- 11 「義僕」水僊
- 20 「白根杜兼題」(13句)
- 21 「大伴家持と鼻毛」水僊
- 3 10 「涙痕録」水僊 4・27 46回完
- 栗本鋤雲翁を吊す（記事）
- 4 4 「帆立貝」糸雨詠
- 9 「能州の風光」藤岡東江 10日完
- 20 「北声会第一回」(18日実施、34句)
- 28 「赤十字」糸雨
- 5 11 「北声会第二回
- 13 「三人宝入船」 7・16 65回完
- 14 広告（俳欄拡張のこと、選者・旧派・新派・蘇柳舎・南立宗匠）
- 7 6 「『誰が罪』を読む」浪子 7日完
- 8 「北声会第四回
- 17 「吉燈籠の由来」
- 23 エッセイ「宗匠の毫碌」睨雲童
- 25 「北声会の諸兄に与ふ」近藤鬚男
- 31 「洞然会の発会式」朝顔
- 8 2 「俳句の美」洞然会の一人悠々
- 7 前書なし理屈なし(23句) 酒鏡 亭花

- 15 みやひの花（碧梧桐3句含む） 守水老
  - 28 「洞然会第二回の記」忍月
  - 30 「蹉跎に与ふ」東圃生
  - 9 2 「東圃にかへす」差也
  - 13 「再び北声会諸子に与ふ」近藤ひげ男
  - 17 「洞然会第三回の記」桂の里
  - 26 「文壇漫言」(郷土出身作家の近況) 蘭山
  - 11 1 「鬼薊」半口齋講演 櫻筆記
  - 11 「平民的文学」園亭菱文
  - 12 9 「祝三日月会設立」(碧梧桐1句虚子2句含む) (この年第一面に俳句多く掲載さる)
- 明治三十一年
- 1 1 「梅吉」醉僊 2・8 39回完
  - 「本日」赤羽万次郎
  - 「越前万歳来沢の来因と万歳の由来」柿園舎主人
  - 「征衣」しのぶ 2日完
  - 14 「三日月会俳句・第五回」(虚子8句、碧梧桐6句含む)
  - 2 9 「越後伝吉」桂仙太郎講演 櫻筆記 4・7 58回完
  - 3 10 「北声会第二二回
  - 4 8 「天一坊実録」桂仙太郎講演 櫻筆記 6・7 60回完
  - 21 「春雨笠」(3月25日富山の紅緑子を訪はんとて云々)洗耳 22日完
  - 5 7 「吉野の花」東圃生
  - 6 1 駄句帖(10句) 高岡北雪
  - 8 「乱れ心」泥牛庵 11日 4回完
  - 12 「銘刀吉光」齋藤溪舟 29日 18回完
  - 19 西方寺歌会兼題
  - 27 乾坤会俳句

- 6 30 「天保水滸伝」伊東俊湖講演  
速記法研究会員速記 10・18 111回完
  - 7 1 博文館月次歌会兼題
  - 13 尾山神社献詠会兼題
  - 8 2 三日月会(虚子1句含む)
  - 5 「大和心」竹の舎主人
  - 30 「故福島静斎翁を憶ふ」藤岡東圃
  - 9 10 「尾山神社の神門」東圃生
  - 21 「家をもとむる記」東圃生
  - 24 九十九会発会式祝句
  - 10 14 伊豆廻舎月次兼題
  - 19 「俱利伽羅峠」伊藤燕尾講演  
速記法研究会員速記 11・21 34回完
  - 11 19 「弓懸松」兼山子  
島村抱月補作
  - 20 芭蕉館翁忌の手向(20句)
  - 22 「孝子彦二郎」醉翁
  - 12 10 「懺悔」無二弁作 13日完
- 明治三十二年**
- 1 1 「笠松城」無一莽 2・7 38回完
  - 1 「雪月花」紅夢作
  - 1 「久間春子女史」藤岡東圃
  - 1 「滑稽夫婦」醉翁
  - 21 「一筆達磨」紅夢作
  - 2 2 「講談山根才助」桃葉講演
  - 2 「亡友細井有楽を吊す」藤岡東江
  - 8 「堀部安兵衛」及熊齋員鏡講演  
今村次郎速記 4・10 62回完
  - 11 「女理髮師」蝸牛
  - 15 「青莪録・日本海岸の日本と太平洋岸の日本」志賀重昂述
  - 18 「青莪録・田岡嶺雲の『波のしづく』」新声第一  
号所載

- 2 22 「放火犯」蝸牛
  - 29 磬声会俳句
  - 4 5 「談切千葉正胤伝」貞龍齋員水講演  
今村次郎速記
  - 11 「佐倉宗五郎」桃川如燕講演 8・15 119回完
  - 12 「東京と金沢」碧玲瓏
  - 12 長詩「朧月夜」香村楓溪
  - 11 「柳茶屋」蝸堂
  - 5 13 北声会第二六回
  - 11 「泣血鳥」無一莽 24日完
  - 6 4 「世渡」無一莽
  - 7 「小西屋政談」神田伯山講演  
今村次郎速記
  - 17 尾山神社献詠歌会兼題
  - 8 6 「隅田川出世春駒」鳳遊軒英麿講演
  - 24 「三人心中」窪田流月 45回完
  - 9 25 「やれ長屋」流月漁郎
  - 27 「水戸黄門記」志道軒白遊講演 12・3 68回完
  - 10 1 新体詩「幽栖秋来」月廻舎
  - 5 「おもかげ(三)川上眉山(上)」月下瘦 6日完
  - 12 4 「名君膝栗毛」志道軒白遊講演  
坂本慎一郎速記 33・2・4 63回完
  - 8 北声会例会
  - 19 「琴の音」枯村
- 明治三十三年**
- 1 3 戯曲「子の年」流月作
  - 11 「談切忠孝義士」志道軒伯遊
  - 27 「茂津礼糸」月のや 17回完
  - 31 北声会俳句
  - 2 1 「苦もる零」速水不染

- 25 「神力庄吉」山崎小民郎講演  
依阿彌彌信弘筆記
  - 6 22 「北国石川寅次郎」桃川森林講演  
今村次郎速記（連載中）
  - 9 22 応募俳句（碧玲瓏1句他）
  - 11 1 「実説朝顔日記」 34・2・9 87回完
  - 7 北声会例会
- （この年「文苑」欄—漢詩、和歌、俳句—あり）
- 明治三十四年**
- 1 4 「田舎の新年」藤岡東江
  - 16 白根社月次俳句
  - 2 1 一月古学舎月次歌会兼題
  - 10 「寛政力士伝」伊東凌湖講演  
今村次郎速記 7・11 130回完
  - 11 「新田義貞」松林伯四講演  
今村次郎速記
  - 3 11 「北国雪女郎」松林伯四講演  
今村次郎速記 4・22 43回完
  - 4 23 「天保春の遠山」松林伯四講演  
今村次郎速記 6・29 68回完
  - 5 14 伊豆のや歌会兼題
  - 6 30 「復讐犬の裾引」—立齋南玉講演 7・7 8回完
  - 7 1 如月舎兼題秀句
  - 8 「松前屋五郎兵衛」神田伯山講演  
今村次郎速記 7・27 20回完
  - 28 「孝子野狐三次」真龍齋貞水講演  
今村次郎速記
  - 8 5 毎週附録「秋田路」桃川森林講演  
今村次郎速記 35・5・26完
  - 24 「橋公桜井駅の訣別」松林伯四講演 27日 4回完
  - 9 9 「新場の子安」松林若田講演 10・17 39回完
  - 10 18 「武勇柳生の流」及龍齋貞鏡講演  
今村次郎速記 11・22 36回完
  - 11 6 「寺坂吉右衛門」 23日 16回完
  - 10 小品「一夜の宿」流月作
  - 23 「紀伊国屋文左衛門」伊藤凌湖講演  
今村次郎速記 35・2・17 87回完
  - 〃 長詩「アイヌ人種の末路」永耕生

- 12 27 北声会例会
  - 14 鈺毒陳情（田中正造のいわゆる直訴状全文紹介）
- 明治三十五年**
- 1 1 「沢庵虎の話」桃川森林講演  
今村次郎速記
  - 〃 「アーク燈」流月作
  - 〃 懸賞文芸発表（以後、新年の恒例となる）
  - 2 「実説伊賀越」 9・30 193回完
  - 11 記事「紅葉山人と芸者」
  - 14 興道舎歌会始（25首）
  - 2 18 「赤穂義士」 6・2 105回完
  - 21 新体詩「雪中行軍に凍死せる人を悼みて」—少女
  - 27 「福助座劇評」雪達摩
  - 4 20 「好半日」すみれ 30日 4回完
  - 3 27 白根社月次俳句
  - 5 28 エッセイ「寸影」碧
  - 6 3 「大丸屋騒動」桃川森林講演  
今村次郎速記 7・12 40回完
  - 20 太田鳩石氏追悼の日向俳句
  - 7 13 「烈女春日局」 10・2 82回完
  - 9 26 「甲正岡子規君」（3句）病碧玲瓏
  - 10 2 「故正岡子規氏の事」碧玲瓏 7日 5回完
  - 11 3 「徳川千姫君」 36・1・17 60回完
- 明治三十六年**
- 1 1 「寛永三ツ轡」桃川森林講演  
今村次郎速記 4・24 114回完
  - 〃 「兎娘」窪田流月
  - 〃 「大当り」へれろ山人



- 12 11 10 7 4 21 12  
 短文「晩夏」照文生（犀星）  
 北声会（照文生〈犀星〉2句含む）  
 短文「秋風の巻」てりふみ（犀星）  
 「短篇煤煙」白生  
 「恋と恋」流月 12・17 52回完  
 短文「秋月の巻」てりふみ（犀星）  
 「天長節」徳田秋声  
 「恋比丘尼」銀波樓  
 「業平塚」宝井馬琴講演  
 「小説女龍神」渡辺黙禪  
 北国俳壇（照文〈犀星〉1句含む）  
 北国俳壇（照文字〈犀星〉2句含む）
- 明治三十九年
- 1 1  
 「小説女の声」小栗風葉  
 「新小説小楽郷」三島霜川  
 「文壇瞥見」荳圃生  
 「みちづれ」柳川春葉  
 「毎週附録天保六花撰」桃川燕玉講演  
今村次郎速記  
 「人の春」徳田秋声 3日未完  
 「残夢」渡辺黙禪 6日 5回完  
 文壇の将星殞つ桜痴居士の訃（記事）  
 「秘密の秘密」徳田秋声 5・26 115回完  
 北国俳壇（照文生〈犀星〉1句含む）  
 「恋と恋・後篇」窪田流月 52回完  
 「雨夜の琵琶」（小泉八雲「怪談」より）あい子  
 「ひとり」しうせい 21日 2回完  
 「姉妹」しゅんえふ 3日 2回完
- 12 10 18 13 11 3 10 7 4 21 12  
 「画工」しうせい 13日 2回完  
 「白すみれ」さうせん 16日 3回完  
 「楽園」さうせん 20日 4回完  
 北国俳壇（犀星2句含む）  
 「向日葵」烈日庵霜川 6・27未完  
 「まごころ」霜川  
 「田植」霜川  
 碧玲瓏忌追悼句（犀星1句含む）  
 「花川戸助六」桃川燕雨講演 26日 14回完  
 北国俳壇（犀星4句含む）  
 「浪華名物」西尾弁慶講演  
今村次郎速記  
 北国俳壇（犀星4句含む）  
 新体詩「雪下花」篠原水衣  
 白根社月次俳句  
 北国俳壇（犀星1句含む）  
 月之会例会（犀星2句含む）  
 「足尾銅山を視る」土屋生 28日 3回完  
 「黄金窟」徳田秋声 40・1・19 110回完  
 北国俳壇（犀星1句含む）  
 北国俳壇（犀星1句含む）  
 北国俳壇（犀星2句含む）  
 月之会観月会（上）（犀星2句含む）  
 講演「無縁仏」無署名  
 千代見草（犀星1句含む）  
 「御学問女」鶴女 12・14完  
 月之会例会（上）（犀星2句含む）  
 北国俳壇（犀星1句含む）  
 北国俳壇（犀星5句含む）  
 「歴史少」五羽の雁「紫蘭」

## 明治四十年

- 1 1 エッセイ「無名詩人」江見水蔭  
詩「アラン・ポー」碧瑠璃訳
- 「新年書懐」藤井紫影
- 「希望」藤岡東圃
- 「祝の門松」桃川燕王講演  
今村次郎速記
- 長詩「海国賦」西尾薄明
- 「一家団楽」徳田秋声
- 「鶯屋敷」東京三島霜川 1・23 4 回完
- 「煩悶」徳田秋声 5・9 23 回完
- 2 5 北国俳壇 (犀星 1 句含む)
- 梅花節 (犀星 1 句含む)
- 北国俳壇 (犀星 1 句含む)
- 一中さくら会 (犀星 2 句含む)
- 15 北国俳壇 (犀星 1 句含む)
- 16 一中さくら会 (犀星 2 句含む)
- 17 「短篇狂女の薬礼」桃川燕雨述 19 日 3 回完
- 3 1 「家庭に於ける女子の読物」沢柳文部次官 (談話)
- 北国俳壇 (犀星 4 句含む)
- 6 医峰同人集 (犀星 5 句含む)
- 22 北国俳壇 (犀星 4 句含む)
- 4 16 北国俳壇 (犀星 4 句含む)
- 24 北声会句抄 (犀星 3 句含む)
- 5 3 小説「五羽鶴」窪田流月
- 新体詩「経蔵の壁に倚りて」西尾薄明
- 祝章吟 (犀星 2 句含む)
- 「順運逆運」徳田秋声 8・22 105 回完
- 24 北国俳壇 (犀星 7 句含む)
- 25 月次会例会 (犀星 3 句含む)
- 28 一中俳句会例会 (犀星 2 句含む)
- 29 北国俳壇 (犀星 1 句含む)
- 「俳壇狼牙棒」(犀星句評) 霹靂火
- 31 二葉会詠草 (犀星 1 首、尾山篤二郎 1 首)
- 6 7 北国俳壇 (犀星 3 句含む)
- 9 北声会 (犀星 3 句含む)
- 11 北国俳壇 (犀星 2 句含む)
- 20 北国俳壇 (犀星 1 句含む)
- 21 北国俳壇 (犀星 2 句含む)
- 7 4 北国俳壇 (犀星 3 句含む)
- 13 北声会 (犀星 3 句含む)
- 24 北辰詩社短歌 (上) (犀星 1 首含む)
- 27 北辰詩社短歌 (下) (犀星 1 首含む)
- 28 「北辰詩社短歌を評す」鉄槌生
- 8 4 新歌人 (6 首) 尾山荊萱
- 7 「最近文学談」(漱石その他) 藤岡作太郎氏談
- 14 北声会 (犀星 4 句含む)
- 15 北陸五句集 (犀星 2 句含む)
- 17 北国俳壇 (犀星 4 句含む)
- 18 北国俳壇 (犀星 5 句含む)
- 20 新歌壇 (犀星 3 首含む)
- 21 「山川検校」梶井一講演  
今村次郎速記 11・4 74 回完
- 23 北国俳壇 (犀星 2 句含む)
- 27 風骨子送別筵 (犀星 3 句含む)
- 9 1 風骨子送別筵 (犀星 1 句含む)
- 5 手向の句 (犀星 1 句含む)
- 10 北声会例会 (犀星 2 句含む)
- 12 新歌壇 (犀星 1 首含む)
- 19 新歌壇 (犀星 1 首含む)
- 27 「栗山大膳」松林伯知講演 119 回完

- 10 4 「義士苔の碑」無名氏 11・26 39回完
- 8 一中俳句会（犀星1句含む）
- 11 北陸五句集（犀星3句含む）
- 15 古禅房小集（犀星1句含む）
- 16 北国俳壇（犀星5句含む）
- 31 四高俳句会席上吟（犀星1句含む）
- 11 3 菊花節（犀星2句含む）
- 4 土曜会（犀星2句含む）
- 5 「真享三勇士」桃川燕玉講演  
今村次郎速記 12・27 53回完
- 18 「俳句の詩的価値」笹岡釣雪
- 27 北声会席上吟（犀星1句含む）
- 12 3 月之会例会（犀星3句含む）
- 5 北声会兼題（犀星1句含む）
- 16 月之会忘年会句稿（犀星1句含む）
- 21 北声会例会句稿（犀星4句含む）
- 28 「新作」落語子宝三遊亭小円遊口演 31日 4回完
- 明治四十一年**
- 1 「笑話数則」紫影
- 「追懐」藤岡東圃
- 「春」東京徳田秋声
- 「猿の見参」早川辰義講演  
野村秋子速記
- 「懸賞小説義憤」東京小柳細雨 4・3 66回完
- 4 新年吟（犀星3句含む）
- 17 俳句「百千会発会式祝章」
- 18 四高俳句会（犀星2句含む）
- 19 月之会新年俳句会（犀星3句含む）
- 20 北声会新年会（犀星3句含む）
- 21 北声会新年会（犀星2句含む）
- 27 記事「仮名遣問題」（文相案に対する世論）
- 21 北声会新年会（犀星2句含む）
- 27 「吾輩は猿である」肥後西村水月 2・2 2回完
- 2 3 土曜俳句初会（犀星2句含む）
- 「尼子十勇士伝」西尾弁慶講演  
今村次郎速記
- 5 小説「妻」棹影
- 7 北国俳壇（犀星5句含む）
- 8 病窓運座吟（犀星3回含む）
- 11 梅、霞（犀星2句含む）
- 19 小説「邂逅」佐竹愚溪
- 19 月之会紀元節祝賀俳句会（犀星2句含む）
- 24 一中俳句会句抄（犀星4句含む）
- 25 文壇の時事問題（記事）
- 3 2 月之会席上吟（犀星3句含む）
- 4 「曾呂利新左衛門」燕雨述 6日 3回完
- 14 月之会（犀星3句含む）
- 15 金城五句集睦月号拔萃（犀星1句含む）
- 「落語つるく」三遊亭金馬 18日 3回完
- 26 北声会句抄（犀星3句含む）
- 27 北国俳壇（犀星12句含む）
- 29 月之会小集（犀星2句含む）
- 4 4 「十五夜」TS生 5・25 53回完
- 8 月之会席上吟（犀星2句含む）
- 12 蘆城俳句会（犀星2句含む）
- 27 金城五句集弥生号拔萃（犀星1句含む）
- 5 1 第一回七尾しき島俳句会
- 21 北声会（犀星3句含む）
- 22 「懸賞小説ゆく春」石川千歳 7・19 55回完
- 7 蘆城俳句会（犀星2句含む）

- 20 「加賀島」桃川燕雨述 9・23 66 回完  
 22 迎朋小集 (犀星 3 句含む)  
 29 北陸俳人大会 (上) (犀星 2 句含む)  
 8 蘆城俳句会 (犀星 2 句含む)  
 10 北国俳壇 (犀星 2 句含む)  
 24 北国俳壇 (犀星 1 句含む)  
 9 北国俳壇 (犀星 1 句含む)  
 4 北国俳壇 (犀星 1 句含む)  
 11 「運命」二月二十四日」ウエリ子九作  
 悲劇 藤原水衣訳 10・14 17 回完  
 17 仮名遣問題 (記事)  
 18 仮名遣の今後 (記事)  
 19 北国俳壇 (犀星のみ 16 句所収)  
 20 月之会観月遊 (犀星 3 句含む)  
 24 「姥捨山」桃川如燕講演 42・1・19 118 回完  
 28 北国俳壇 (犀星 2 句含む)  
 29 北国俳壇 (犀星 1 句含む)  
 30 北国俳壇 (犀星 1 句含む)  
 10 北国俳壇 (犀星 8 句含む)  
 12 紫人庵例会句抄 (犀星 1 句含む)  
 6 北声会忘年会句抄 (犀星 3 句含む)  
 15 柿赤庵小集 (犀星 3 句含む)  
 24
- 明治四十二年**
- 1 「名古屋より」藤井紫影  
 「驚いた」ロバアト、ルイ、スチイウンソン作  
 大谷橋石訳  
 「故郷の海山」藤岡東圃  
 「鳥井彦左衛門」一龍齋貞輔講演  
 「松山奇談」桃川如燕講演  
 今村次郎速記 3・31 71 回完  
 「冬の人事句」岳樓
- 11 美川千鳥吟社五句集  
 3 月仙送別会句抄 (犀星 1 句含む)  
 11 響俳句会 (犀星 2 句含む)  
 12 「小笠原騒動」桃川如燕講演  
 今村次郎速記 5・29 59 回完  
 4 七尾白濤会句抄  
 10 北国俳壇 (犀星 2 句含む)  
 18 北声会 (犀星 3 句含む)  
 19 北声会 (犀星 1 句含む)  
 20 北声会 (犀星 1 句含む)  
 21 北声会 (犀星 1 句含む)  
 5 「桂川力蔵」桃川如燕講演  
 今村次郎速記 8・19 82 回完  
 31 「雲霧五人男」(毎週附録) 室井空窓講演  
 今村次郎速記  
 6 四高俳句会  
 9 碧玲瓏忌 (上) (犀星 1 句含む)  
 17 碧玲瓏忌 (下) (犀星 2 句含む)  
 19 「死人の妻」ホーソン作  
 水衣訳 7・4 4 回完  
 8 北声会七月例会句録 (下) (犀星 3 句含む)  
 1 北国俳壇・碧梧桐旅中吟 5 日 4 回完  
 30 俳句「北国行脚」竹冷 14 日 4 回完  
 10 「塚原二代記」桃川如燕講演  
 今村次郎速記 43・3・5 198 回完  
 20 北声会八月例会句録 (犀星 3 句含む)  
 22 碧梧桐を迎ふ (碧梧桐 1 句含む)  
 24 碧梧桐を迎ふ (碧梧桐 1 句含む)  
 25 碧梧桐を迎ふ (碧梧桐 1 句、犀星 2 句含む)  
 28 北陸俳句大会句録 (碧梧桐 1 句含む) 29 日 2 回完  
 9 碧梧桐師白山登山吟 (5 句)  
 14 碧梧桐師を迎ふ (碧梧桐 3 句含む)  
 16 「喜ひつこし」磯石作  
 雨村作  
 21 北声会の子規忌 (碧梧桐 1 句、犀星 1 句含む)  
 30 続碧梧桐旅中吟 (24 句)  
 10 碧梧桐師を迎ふ (碧梧桐 1 句含む)  
 3 碧梧桐師を迎ふ (碧梧桐 1 句含む)

- 4 続碧梧桐旅中吟（9句）
  - 6 続碧梧桐旅中吟（22句）
  - 13 山中汪洋館小集（碧梧桐3句含む）
  - 16 松任百千会
  - 20 山代俳信（碧梧桐句）
  - 11 // 「喜作詩家」曙岡 東野 撰
  - 1 1 「一休物語」（毎週附録）桃川燕玉 今村次郎 撰
  - 6 「増補明治文学史を読む」八波其月
  - 22 北声会（犀星2句含む）
  - 23 北声会（犀星2句含む）
  - 12 20 白根社月次俳句
- （この年「北国俳壇」「五行小品」欄あり）
- 明治四十三年**
- 1 エッセイ「犬」藤岡東圃
  - // 「七福神の宴会」喜楽亭万寿講演
  - 3 「烟の一節」ツルゲーテ 原作 岡田 結輝 訳
  - 6 「吾輩は犬である」栄太樓
  - 9 「小説子宝」酔雨 12日 3回完
  - 15 「小説離散」あい子 2・10 11回完
  - 20 四高俳句会句鈔
  - 26 蕪城俳句会句抄
  - 2 16 「小説細君」酔雨 3・1 9回完
  - 20 能登邑知俳壇
  - 3 1 四高短歌会詠草
  - 5 「湯浅正宗」桃川燕玉 今村次郎 撰 4・6 32回完
  - 9 古学舎月次歌会兼題
  - 26 「義士と吉良上野介」三宅雪嶺

- 27 「小説離別」雨村 29日 2回完
  - 4 1 「小説家庭」あい子 2日 2回完
  - 7 「榊原騒動」西尾舟登 今村次郎 撰 6・13 68回完
  - 10 蘆廼舎歌会兼題
  - 16 北国俳壇（犀星2句含む）
  - 5 7 四高和歌会詠草
  - 11 「おも影」雨村 6・7 16回完
  - 6 1 第九回北陸会募集俳句
  - 14 「松阪関左内」桃川燕玉 今村次郎 撰 7・28 45回完
  - // 「森家三勇士」（毎週附録）
  - 7 15 「喜劇英語」球子
  - 20 「親子」モウパッサン 東野 撰 27日 5回完
  - 29 「日蓮上人」桃川燕玉 今村次郎 撰 11・23 118回完
  - 8 3 「女豫讓」袖の浦人 5日 2回完
  - 9 「小説自棄」あめ生 14日 5回完
  - 21 文芸院設置案（記事）
  - 9 12 「樋口武勇伝」（毎週附録）桃川如燕 今村次郎 撰
  - 30 「喜髯」夢之助 劇髯 素浪人 作 10・29 22回完
  - 10 3 小木御船神社月並献句拔萃
  - 25 落雁吟社（紫人その他）
  - 11 3 「落恵比寿講」柳家小さん 今村次郎 撰
  - 17 医専俳句小会
  - 24 「檜山騒動」桃川燕玉 今村次郎 撰 44・8・3 252回完
  - 12 10 「仕立屋の娘」モウパッサン 今村次郎 撰 22日 10回完
- （この年「北国俳壇」「北国俚謡」欄あり）
- 明治四十四年**
- 1 1 白根社新年吟（22句）

- |    |   |    |  |
|----|---|----|--|
| 1  | 「猪の五段目」 <small>桃川燕雨講演<br/>今村次郎速記</small> 2 日完             | 9  | 「東園遺稿を読む」岩城準太郎 10・1 3 回完                                   |
| 2  | 「猪の話」竹廻舎  | 8  | 「白拍子祇五」山田美妙遺稿 45・3・24 119 回完                               |
| 3  | 「柵」雨村   | 24 | 「榛名の梅ヶ香」 <small>三遊亭小四郎口演<br/>今村次郎速記</small> 45・6・14 202 回完 |
| 4  | 「老婆」蘆水女史  | 25 | 小説「孤独」雨の人 28 日 3 回完  |
| 5  | 「紫」粟田水村   |    | (この年「北国俚謡」「北国俳壇」欄あり)                                       |
| 6  | 「大槻朝元実歴談」戸水信義述 14 日 9 回完                                  |    |  |
| 7  | 「喜劇新年の粧」  |    |  |
| 8  | 「樋口武勇伝」(毎週附録)   |    |  |
| 9  | 「落雁吟社新年会」(23 句)   |    |  |
| 10 | 尾山神社月次歌詠兼題 (11 首)   |    |  |
| 11 | 「近松研究 曾根崎・心中」心遠樓主人 2・7 14 回完                              |    |  |
| 12 | 古学舎月次会 (16 首)   |    |  |
| 13 | 「小説親いづこ」 <small>モリパサン作<br/>破魔司訳</small> 26 日 6 回完         |    |  |
| 14 | 梅園婦人歌会二月兼題 (21 首)   |    |  |
| 15 | 「小説追想」雨村 3 日完   |    |  |
| 16 | 「太閤記」(毎週附録) <small>龍齋貞山講演<br/>今村次郎速記</small> 12・4 73 回完   |    |  |
| 17 | 「東京女」、天   |    |  |
| 18 | 「短篇 彼の女」 <small>モリパサン作<br/>羽田夢香訳</small> 13 日 4 回完        |    |  |
| 19 | 「短篇小説秋」露花生  |    |  |
| 20 | 「一年間」愛子 5・2 6 回完  |    |  |
| 21 | 「短篇小説 呪咀者」真田光波  |    |  |
| 22 | 一般文芸の奨励(文芸委員会設立の記事)                                       |    |  |
| 23 | 「二人連の女」紅夢生 22 日 3 回完                                      |    |  |
| 24 | 「傾向一端」(新傾向俳句について)栗老人 16 日 3 回完                            |    |  |
| 25 | 「蚤」(漱石「吾輩は猫である」のもじり)磯葉子                                   |    |  |
| 26 | 「新講談 坊主殿様」 <small>泰々齋桃葉講演<br/>今村次郎速記</small> 11・23 112 回完 |    |  |
| 27 | 「不如帰」劇評 尾山座に於ける佐藤正劇(記事)                                   |    |  |
| 28 | 「劇評『金色夜叉』」かつら   |    |  |
| 29 | 「妻の心」徳田秋声 11・7 50 回完                                      |    |  |
| 30 |   |    |  |
| 31 |   |    |  |
| 32 |   |    |  |
| 33 |   |    |  |
| 34 |   |    |  |
| 35 |   |    |  |
| 36 |   |    |  |
| 37 |   |    |  |
| 38 |   |    |  |
| 39 |   |    |  |
| 40 |   |    |  |
| 41 |   |    |  |
| 42 |   |    |  |
| 43 |   |    |  |
| 44 |   |    |  |
| 45 |   |    |  |
| 46 |   |    |  |
| 47 |   |    |  |
| 48 |   |    |  |
| 49 |   |    |  |
| 50 |   |    |  |

明治四十五年(大正元年)

- 22 「東圃遺稿」其月生 25日 4回完  
 25 「北国短歌号に就て」尾山篤二郎  
 27 四高短歌会詠草  
 11 「浦島物語」（小説八雲原作）東畔生訳 15日 3回完  
 13 「大正の維新」島田三郎氏談  
 10 「渋谷嵐」橋本理木庵 大2・5・3 116回完  
 13 「明治の小説家」雨村 15日 3回完  
 22 「高浪八郎」楊名舎桃李講演  
加田由太郎速記 2・6・23 160回完  
 （この年「北国俳壇」「北国俚謡」欄あり）
- 大正二年**
- 1 「惜福の工夫」幸田露伴 2日完  
 「消えし光」小泉八雲作  
大石磯石訳  
 「能登海浜の感懐」児玉花外  
 「絵画研究の方針」平木清光  
 「講談・福鶯」猫遊軒伯知口演  
丸山五郎速記 2日完  
 「小牛之像」泉鏡花作  
 「加賀絹の歴史」戸水信義  
 「金沢に於ける最初の新聞紙」和田尚軒  
 「太閤記続編」（毎週附録）一龍齋貞水講演  
今村大郎速記  
 「文芸雑話」（最近文壇文学について）城南隠士 29日 4回完  
 「短篇小説を読みみて」草壁桃男 30日完  
 2 北声会例会（犀星2句含む）  
 18 北声会例会（犀星1句含む）  
 23 北国俳壇（犀星3句含む）  
 3 6 「歌集」「ころ」を読む」其月水  
 7 北声会臨時会（犀星4句含む）  
 9 「司祭セルギー」トルストイ原著  
千田平一訳 4・15 37回完
- 20 「歌集」「ころ」の読後に「銀葉歌  
 「「ころ」の作者のために」長途生  
 15 「米国に於ける日本古美術品」黒板勝美氏談  
 19 「東都名士訪問録」幸田露伴氏「在京黒田東海 20日完  
 「日本の将棋」幸田露伴氏談  
幸田露伴筆記 29日 5回完  
 5 小説「その佛」小山集川 8・29 98回完  
 9 小説「灯影」満久紅雨 14日 3回完  
 6 5 四高俳句会句稿  
 17 井泉水氏歓迎句会（井泉水1句含む）  
 24 「祐天上人」楊名舎桃李講演  
加藤由太郎速記 12・18 185回完  
 25 北陸俳句大会（井泉水3句含む）  
 28 井泉水氏送別句会（井泉水4句含む） 29日完  
 7 12 小説「紫陽花の日」せいうんろう 18日 5回完  
 19 「繫累」愛子  
 8 6 「能楽の本源と系統」吉田東伍氏談 14日 9回完  
 17 「也有と其俳文」松坂力雄  
 20 「文壇雜感」柏谷貞治 21日完  
 29 開陽吟社例会  
 30 小説「新生涯」無名氏作 3・1・22 117回完  
 9 3 「短篇無智の罪」森の家  
 29 「服装と芸術」岩城準太郎 10・7 8回完  
 10 23 月可追悼俳句会（碧梧桐1句、犀星1句含む）  
 11 23 「歌集」「さすらひ」太田耕治 29日 4回完  
 12 9 評論「サロメ」耕治生 14日 4回完  
 21 「能興と文学」諸角友平稿 25日 3回完  
 （この年「百字小品」「北国柳壇」欄あり）
- 大正三年**

- 1 「立志」幸田露伴
- 「ハヂ、ムラード」トルストイ原著  
千田平一訳 3・24 71回完
- 「鶴の舞」泉鏡花
- 「暁星五郎」伊藤燕尾口談  
加藤由太郎速記 5・27 120回完
- 「呪詛はれしパン」キイ、ド、モウ、バス、サン  
美樹 露彦訳 16日完
- 「やどり木」桜芳山人作 6・24 125回完
- 北陸俳人大会(26句)
- 4 柳風会例会作品(短歌)
- 5 1 「募集句を読みて」舩朶子 3日 3回完
- 丸岡俳句会句鈔
- 21 「短詩」山本白声生
- 30 「好きな歌だけ」岡部嘉市
- 6 1 「明治弘法新太」楊名舎桃李講演  
加藤由太郎速記  
奇人伝 10・19 118回完
- 25 「罪」嶺葉 11・12 116回完
- 8 5 「北国俳壇の句」舩朶生 12日 7回完
- 17 「徳川栄華物語」(毎週附録)猫遊軒伯知講演
- 18 「俳談会記事」(座談会批評) 25日 7回完
- 26 「歌壇倚語」広沢正之 27日完
- 9 16 「九月の小説」森の家 17日完
- 28 小説「通夜」森の家 30日 3回完
- 10 4 ヤカナ吟社俳句会
- 20 「加賀再度の仇討」楊名舎桃李講演 4・6・26 213回完
- 29 「北陸俳壇の句」 11・20 15回完
- 11 13 「意気地」島川七石 4・4・18 130回完
- 21 「句作と選句」呑鬼樓
- 25 「劇評家の愁ひ」アノンド、ベネット作  
阿ノンド、ベネット作  
阿ノンド、ベネット作  
阿ノンド、ベネット作 28日 4回完
- 26 田中翁(田中正造)の人物評歌
- 12 11 「『連星』を読む」貫四夢
- 「短歌」涙壺早川酒三  
飾磨賢四

大正四年

- 1 3 「我等の俳句」三野兔秋子
- 「望月兔」三遊亭円遊口演
- 「飛行機と芸術」アエロ、アノ、チユア作  
沢守源重郎訳
- 5 「地方青年と娯楽」幸田露伴 9日 3回完
- 7 「左甚五郎」実井琴雅講演
- 8 「家庭小説龍宮平和御殿」
- 14 「閃光」ベネット作  
岡田経謙訳 22日 7回完
- 16 「放れ鳥」舟木生 2・2 6回完
- 27 富来俳句会
- 2 13 「海紅」を紹介する」舩朶子
- 20 「俺が随筆」在東京霞廬舎 25日 5回完
- 24 「旅」大田耕治
- 3 11 「冤罪」作レオ、トルストイ  
越村 東詳訳 27日 11回完
- 17 「朝風の『明日の詩歌』」白露生
- 26 「悪魔の囁き」森の家 28日 3回完
- 28 「見合の微笑」超秀清
- 4 3 「『天明の俳壇』の草稿者松坂氏へ呈す」五岳二水樓
- 7 「西念往来」夢見る男 8日完
- 11 「罪の人」早川潤三 13日 3回完
- 20 「うらおもて」嶺葉散士 9・30 136回完
- 23 「再び力雄といふ男に」五岳二水樓
- 21 「関野ゆき」柏谷生 22日完
- 25 「九州旅行」醉散子 6・1 7回完
- 6 10 「花仙氏著『千代尼』を読む」和田尚軒 13日 4回完
- 16 「徳田秋声氏を訪ふ」森の家

(この年「北国俳壇」「北国柳壇」「百字小品」欄あり)

- |      |                                  |    |   |
|------|----------------------------------|----|---|
| 23   | 「『天明の俳壇』の作者 松阪力雄氏に」大田耕治          | 4  | 「匆忙の巷よりM君に」大田耕治 23日完                            |
| 24   | 「納涼台」繞石生 7・7 9回完                 | 28 | 「詩の純一性に就て」多田不二                                  |
| 27   | 「伝説新話狸屋敷」斯波南叟講演 11・28 130回完      | 30 | 「伝説新話塙道遙軒」斯波南叟講演 11・2 150回完                     |
| 7    | 「松永貞徳」藤井乙男 28日 3回完               | 5  | 「其夜と印象」ろする 23日 4回完                              |
| 8    | 「東京より」繞石生 13日 5回完                | 27 | 「孤独へ」多田不二 28日完                                  |
| 10   | 「命」渡辺黙禪 5・5・31 202回完             | 6  | 「心中塚」島川七石 11・2 129回完                            |
| 14   | 「東京の裏面」鍛冶松太郎 16日 2回完             | 7  | 「浅黄幕と箱火鉢」春木座より夢之助様へ」太田耕治 11日 5回完                |
| 11   | 鶴来町芙蓉会（芭蕉忌）                      | 23 | 「青葉から人形へ」多田不二 25日 3回完                           |
| 7    | 「『愛の争闘』を読む岩野清子の著書」一記者            | 28 | 「俳句の総合的価値」升谷一水 30日 3回完                          |
| 12   | 「伝説新話女助六」斯波南叟講演 5・4・29 120回完     | 7  | 「共に居て」繞石生 8・8 6回完                               |
| 11   | 「句仏上人に」繞石生                       | 8  | 「露伴さんを訪ふ」其月生                                    |
|      | （この年「北国俳壇」「北国柳壇」「北国歌壇」「百字小品」欄あり） | 12 | 「見送り」繞石生 22日 8回完                                |
| 大正五年 |                                  | 24 | 「加賀流の謡より覚めよ」青雲樓                                 |
| 1    | 「龍と夢」上田万年                        | 25 | 「夜燈録」森の家 27日 3回完                                |
| 2    | 「和歌評論」海上胤平                       | 29 | 「金沢語を尊重せよ」尾山篤二郎                                 |
| 2    | 落語「娘の景物」春風亭花仙演                   | 30 | 「肥た人と瘦た人」 <small>露子エホフ 象子の塔生訳</small>           |
| 2    | 「美佐ちゃん」多美                        | 30 | 「青い襖」人見寂歩 31日完                                  |
| 5    | 「百人一首」柳屋小三                       | 9  | 「悲しき春は逝けども」青い花 9・12 9回完                         |
| 6    | 「伝説と地理」吉田東伍                      | 16 | 「兄弟二人（ハインネより）」松下紫人                              |
| 9    | 「若き述懐の悲み」たかし生 10日完               | 17 | 「神は何処に」 <small>露シオ・トルストイ 別久谷京司訳</small> 22日 4回完 |
| 22   | 「名誉の歌人」其月生                       | 30 | 「秋に入りて」清島生 10・5 5回完                             |
| 2    | 「核に覚める芽」朝風                       | 11 | 「露語と金沢言葉と」松下紫人                                  |
| 2    | 「落葉籠」吹本鯉汀子                       | 3  | 「あきらめ」影の人 6・3・19 120回完                          |
| 8    | 「路上吟」まさたけ                        | 25 | 「伝説新話任侠最合傘」桃川燕二 6・4・18 130回完                    |
| 24   | 「雲の降る頃」大田生 3・24完                 | 8  | 「独語」無名氏 29日 4回完                                 |
| 3    | 「能登の雪」舟木生                        | 12 | 「嵯峨寿女」和田文次郎 19日 8回完                             |
| 30   | 「芸妓玉松」ろする                        | 15 | 「本年の文芸界を概観す」無名氏                                 |
|      |                                  |    | （この年「北国俳壇」「北国柳壇」「北国歌壇」「北国俚謡」                    |

「百字小品」欄あり)

## 大正六年

- 1 「蛇退治」繞石生 5日 5回完  
 2 「読史雑感」服部小市  
 「蛇の話」宮本治作  
 「梅の春」三遊亭円楽  
 「蛇物語」平岡葉舟  
 「遠山の雪」中村春雨  
 3 「七福人の新年宴会」昔家今輔口演  
 5 「三つ鱗」田辺南廓口演  
 10 「現俳壇の悲劇」升谷一水  
 21 「雑感」無名氏 24日 4回完  
 26 「旅人と農夫」レオ・トルストイ 別宮谷京司訳 28日 3回完  
 3 「商人と産業」幸田露伴氏談 2日完  
 7 「自画像の前に」人見寂歩 9日 3回完  
 18 「東京雑信」東海生 22日 5回完  
 20 「腹ちがい」渡辺黙然 11・3 193回完  
 25 「紅谷樓漫筆」栗田生  
 4 「探偵新話男爵の家」小林筑水 9・27 130回完  
 19 「甦らんとて」大田耕治 21日完  
 20 「悲劇としての露西亜文学」諏訪青山 24日 3回完  
 21 「ゆり子」海上龍子 5・2 7回完  
 22 「海鳥の嘆き」寂歩 27日完  
 26 「春のスケッチ」瞳赤頰  
 28 「紫路子に酬ふ」半翠生  
 5 「焦点」森の家  
 6 「無事帰朝」其月生

- 24 「柳壇の人々に」瞳黙十  
 30 「海の町より」安原生 7・4 3回完  
 7 「敦賀より」森の家  
 8 「新詩集」朝風選 25日 5回完  
 21 「北海岸と俗謡」藤田春浦  
 26 「ほのかなるもの」竹久夢二 28日 2回完  
 29 「凡兆考」蔵月明演 9・5 5回完  
 9 「六華会の人々へ」さくら貝 12日 6回完  
 4 「心から心へ(竹久夢二君の芸術)」西田朝風  
 「黒い手帳より」清一郎 11日 4回完  
 6 「子規忌」繞石生  
 12 「川柳の世代」幸塚大橋 25日 2回完  
 24 「寛永勇士并伊直人」桃川燕一 7・4・9 150回完  
 28 「山より」竹久夢二  
 10 「鑿の痕」安岡夢郷 7・3・3 100回完  
 11 「九州箱崎から」赤土塚二  
 12 「小品文の人々へ」夢雄  
 15 「文芸に顯はれたる馬」幸田露伴  
 26 (この年「北国俳壇」「北国柳壇」「北国歌壇」「北国俚謡」)  
 「百字小品」欄あり)

## 大正七年

- 1 「自己革新」幸田露伴  
 「年と共に」其月生 2日完  
 「落語鉄拐仙人」三遊亭せん朝  
 「新年の俳句」藤田春浦 6日 4回完  
 「小倉百人一首の話」三宅邦吉 9日 3回完  
 「光明讀嘆詩」粟田青雲樓 11日 2回完

26	「蟻ヶ原より」諏訪青山
28	「講談明智左馬助光俊」小金井蘆州 30日 3回完
2	「本郷より」辻楊梅子
20	「野がくれ草子」楊梅子 27日完
26	「親の罪」林幽果 7・14 112回完
3	「元禄女仇討」桃川燕二 10・10 150回完
4	「画家の自殺」あきら 28日 9回完
5	「手帳より」東畔
9	「夢之助様へ」森の家 11日 2回完
16	「原文次郎君に与ふ」隠居の眼玉」を讀みて」白露生
19	「繞石先生へ句集落椿を贈られて」水央生 21日 2回完
25	「雲雀の足跡」戸叶きんぢ
27	「『落椿』を讀む」其月生
7	「さすらひ」江見水蔭 8・1・17 140回完
16	「嗟呼鮑村」大谷繞生 26日 4回完
23	「講談頼朝」志道軒白遊 27日 2回完
8	「二人から」阿啞子
24	「在所から」赤土塚二
26	「真田三代記」（毎週附録）
28	「川柳記」幸塚六橋
23	「佐分利左内」桃川燕二 8・5・6 164回完
10	「祖母の死から此の一節を秋声氏に捧ぐ」依田綾声 26日 3回完
11	「盲目的グループに」小夜二
8	「初冬」楊梅子
12	「鴨」大谷繞生 28日 2回完
27	（この年「北国俳句」「北国柳壇」「北国歌壇」「北国俚謠」
	「百字小品」欄あり）

大正八年

1	「落語宝船」五明樓春輔
1	「芭蕉翁と其語録」幸田露伴
2	「維新美談御代の春」桃川燕林
9	「芭蕉翁の新年の句」藤田春浦 10日完
9	「春芝居」森の家 19日 3回完
17	「恋の渦巻」北島春石 11・23 243回完
18	「解剖室の一隅より」小林阿啞子 31日完
30	「即席と宿題」大谷繞石
2	「朝鮮民族由来」物集高見 30日完
29	「女俠於登喜」桃川燕二 11・9 150回完
7	「シベリヤを漂泊する女」跨雲樓
12	「文集編集委員の人々に」諏訪青山
13	「捕慮」 <small>ア・クラーク編 越村、東畔、訳</small> 7・27 11回完
15	「民衆劇の爲めに立つ」小生夢坊
8	「日本ライン木曾川に遊ぶの記」森の家 31日 3回完
5	「譽の一本笹」一立斎文慶講演 9・6・4 161回完
29	「魔の家」渡辺黙禪 9・6・4 165回完
11	「秋田より」小泉登志雄 7日完
11	「京に遊びて」まさたけ
12	「柳壇一年」露月坊 20日 3回完
6	（この年「北国柳壇」「北国俚謠」「百字小品」欄あり）
18	
11	
1	「猿の報恩」志道軒白遊
1	「落語大当り富八」三遊亭円左
2	「読史偶感」幸田露伴
3	「川柳の『会』」紋二郎
10	

大正九年

- 15 「謡の新年」山本良吉  
29 「左衛門逝く」大谷繞石 30日完  
2 「石山軍記」(毎週附録)  
3 「思想問題の成行」吉田熊次 13日完  
4 「川柳梅田湯記」露月坊 21日完  
5 「米国より 米国婦人氣質」四ヶ浦生  
6 「故郷の五月さまよふ室生犀星における詩」相川俊孝 20日完  
7 「若き人へ」岡田里羊路 27日 3回完  
8 「赤城の丹蔵」小邑井小邑 11・13 150回完  
9 「一粒鹿子」江見水蔭 11・19 150回完  
10 「木曾路より」森の家 15日 2回完  
11 「俚謡史研究」諏訪青山 27日完  
12 「六華会の記」紋二郎  
13 「姉妹の家」裸の人 16日 4回完  
14 「俚謡の話」諏訪青山 27日 3回完  
15 「指人形の踊」大田耕治 21日 15回完  
16 「『砂丘』の人々」冬原裸木  
17 「漫画漫文 涅槃を説く男」松本吉平 4日 3回完  
18 「創作上塗蔵から」松本吉平 14日 7回完  
19 「創作温泉道」田原夕風 17日 3回完  
20 「川柳忌」唐木露月坊 19日 3回完  
21 「郷土歌壇の起伏」笠松とよぢ 3日完  
22 「口語文」諏訪青山 21日 7回完  
23 「黄門漫遊記」(毎週附録)  
24 「『新しい村』の講演を聴て」小泉登志雄  
25 小学校卒業帳より(十四)小説家泉鏡花君  
26 「天下無敵槍の又兵衛」斯波南叟 10・5・11 175回完  
27 「創作二つの死」芥子郎 26日 7回完  
28 「神誓」遅塚麗水 10・4・6 117回完
- 12 「柳壇総勘定」唐木露月坊 5日完  
24 「『厄年』：加能作次郎氏へ：」天芥生  
(この年「北国柳壇」「北国俚謡」「北国俳壇」「百字小品」欄あり)
- 大正十年
- 1 「雪と雲と」幸田露伴  
2 「北国俳壇復活と回顧」  
3 「講談鶏蹴合ひ」桃川燕林演  
4 「お伽ばなし心の鏡」岩谷小波氏述  
5 「北国新聞の任務」三宅雪嶺  
6 「追想記」在長崎石橋忍月  
7 「母の読む小説より北国新聞一万号に際して」永井柳太郎  
8 「成長を祈る」室生犀星  
9 北国こども新聞 おとぎばなし「鼠の夢」小川春彦  
10 「バッション」もと星 8日 3回完  
11 「愛欲の生活」森田森の家 30日完  
12 「映画劇断片」もと星 4・5完  
13 戯曲「夢」安達夢香 4・3完  
14 「紅涙」北島春石 9・29 150回完  
15 「麗日詩篇」小島貞一  
16 「伝説研究・奇談怪談」(日曜附録)  
17 「汗の生活」幸田露伴氏談 24日 4回完  
18 「蓮如上人遠忌」(日曜附録)  
19 「綴方教授の改善と研究」諏訪青山 5・6 6回完  
20 「戯曲集『宮古路豊後椽』を読んで：清見陸郎兄に：」8日完  
21 森田森の家  
22 「幕末巷談若菜や小春」大河内翠山稿 9・19 127回完  
23 「竹の門句集を読む」小松砂丘

- 18 「惜春詩篇」小島貞一
- 25 本県出身の芸術家連新団体を組織せん準備中（記事）
- 7 27 「加賀能楽史上の一部批判」青雲樓主人 28日完
- 8 19 「国際補助語エスペラントに就て」川原次吉郎
- 9 20 「天明五人男」坂本富岳稿 11・3・3 146回完
- 24 「児童雑誌に就いて」中本恕堂
- 30 「星の光」小川鏡訂作  
伊藤深木画 11・3・3 140回完
- 10 7 「小泉八雲の事ども」S O 生 13日 5回完
- 20 「文芸」サロメ」本日よりスメル館（記事）
- 11 1 「フェノロサ氏と小泉先生」大谷鏡石
- 12 2 「柳壇一年」唐木露月坊 3日完
- (この年「北国俳句」「北国柳壇」「北国俳諧」「北国こども新聞」欄あり)
- 1 「創作梅にも春」上司小剣 3日完
- 「創作幸福」石丸悟平
- 「童話天下一品」小川未明 2日完
- 3 4 「慶安太平記」原田東風 6・11 87回完
- 「家庭」焰の歌」北島春石 7・21 120回完
- 5 童話「ペロリ先生と兵太」宮地嘉六
- 4 16 「大英の太子を迎へ奉る歌（10首）」与謝野晶子
- 「歓迎の詩」野口米次郎
- 5 2 「舞台協会劇「出家と其弟子」に就いて」森の家
- 6 12 創作「神は眠る」芳川尠 7・27 30回完
- 13 「大槻伝蔵」尚流斎英山講演 10・7 102回完
- 7 9 危篤に陥れる鷗外博士（記事）
- 22 「第一線」島川七石 12・1・25 160回完

大正十一年

- 8 11 「余の高唱する個人主義」越村仁吉
- 9 10 エッセイ「川柳」唐木露月坊
- 21 「『往生録』を讀みて」桐山犀月子 22日完
- 10 6 「川柳に携はる人達に檄す」雅楽頭 10日 4回完
- 8 「前田忽々齋」神田伯山演 11・10 28回未完
- 12 「平民詩会第一回の記」紅法師生
- 11 11 「合邦ヶ辻仇討」神田伯山講演 13・4・5 133回完
- 15 平民詩会句報
- 12 8 「古都閑談」（鷗外について他）S・O
- (この年「百字小品」「北国柳壇」「北国俳諧」欄あり)
- 1 「春の歎び」上司小剣 4日 4回完
- 「プロレタリア詩人の芸術運動」昇曙夢
- 2 「社会運動と宗教」山室軍平
- 「救はる、と云ふ事」吉田絃二郎
- 7 童話「猿廻しの子」水守亀之助
- 22 「斬られた巡査」中村星湖 2・19 4回完
- 大杉栄は独逸にゐる（記事）
- 26 「地獄屋敷」日暮の里人 9・2 191回完
- 2 27 「顧みる金沢の文壇と私」雅楽頭 3・28 22回完
- 4 6 「偽りの花」真山青果 10・9 147回完
- 16 詩「春の昼」人見東明
- 5 5 「ゆく春（俳展のあと）」砂丘生 6日完
- 6 1 「刹那」酒井彌三久
- 18 「欧米婦人に学びたい事ども」佐藤紅緑
- 23 「西周伝」京大S O 生
- 27 相馬御風氏の講演（要旨）

大正十二年

- |       |                                 |      |                           |
|-------|---------------------------------|------|---------------------------|
| 7 3   | 創作「毒血」楠田敏郎 12・12 101 回完         | 17   | 「詩壇の齋兒として」村井武生 7・18 15 日完 |
| 7 7   | 「利邦」を評す」森田一二                    | 7 1  | 「東京にて(俳句1句)」室生犀星          |
| 9     | 有夫の婦と恋に陥ち有島武郎氏縊死す(記事)           | 24   | 「北国文壇の状勢」詩丘薫一             |
| 16    | 「新人を待つ」与謝野晶子                    | 8 2  | 「有島武郎氏を憶ふ」矢花晃             |
| 22    | 「喧嘩腰(一)島田清次郎君と俺」岡谷天芥 29 日完      | 14   | 「九十九湾にて」(短歌2首)相馬御風        |
| 26    | 島清と芳江に恋愛関係はなかった(記事)             | 11   | 「軽井沢より」(俳句2句)芥川龍之介        |
| 9 4   | 「出世太閤」桃川桂玉 13・3・26 175 回完       | 9 12 | 「無題」(俳句2句)室生犀星            |
| 10 26 | 「天君の川柳」安川久流美                    | 12   | 「ゴリキイの『人間』より」高桑隆一 詠       |
| 11 2  | 「安政地震夜話悪縁の糸」山木柳葉 13・9・11 278 回完 | 16   | 「金色の像」三浦閑造 14・2・19 140 回完 |
| 6     | 北声会例会句抄                         | 20   | 「俳壇の大立物高浜虚子」山本素律          |
| 12 25 | 創作「信長」加藤夕咲                      | 16   | 「虚子氏歓迎俳句大会(虚子6句含む)」       |
- 大正十三年**
- |      |  |      |  |
|------|--|------|--|
| 1 2  | 創作「秘密」中村星湖 7 日 5 回完                      | 10 1 | 「相馬御風論」山片生                               |
| 4    | 「春の幸福」長田幹彦                               | 25   | 北国柳壇「喜多一児3句含む。喜多一鶴彬の句は大正年間は15・9・17まで現わる」 |
| 12 4 | 「春宵」上司小剣 15 日 3 回完                       | 11 7 | 「階級芸術と社会性」小島小夜夫 10 日 4 回完                |
| 16   | 「もの語り」 <small>安部 正実 訳</small> 2・10 29 回完 | 15   | 「ゴリキイの『どん底』と其の印象」東京笹川生                   |
| 28   | 「駒鳥と酒」小川未明 2・25 5 回完                     | 18   | 「創造讃歌」 <small>カヒール作 幸次訳</small>          |
| 3 4  | 戯曲「高倉下」加藤祐策 3・15 完                       | 21   | 「川柳とユーモア」北野龍二                            |
| 7    | 「芭蕉の言伝を聞く」小松砂丘生                          |      | (この年「北国俳壇」「北国歌壇」「北国柳壇」欄あり)               |
| 18   | 創作「愛の焰」福田正夫                              |      |  |
- 大正十四年**
- |     |                            |     |                     |
|-----|----------------------------|-----|---------------------|
| 27  | 「忍術五人男」淡路呼潮演 9・19 150 回完   | 1 1 | 「恵美子」加能作次郎 5 日 5 回完 |
| 4 8 | 「若い婦人の小説」徳田秋声氏談            | 3   | 「婦人の文学的教養」前田晃       |
| 5 3 | 「空によする」久村五郎                | 3   | 「勝利」上司小剣            |
| 4   | 「散文詩 夜霧」二篇」村井武生            | 8   | 「元旦の仇討」二篇」柳斎貞山講     |
| 20  | 「金沢歌壇過去断片記」G、K、生 22 日 3 回完 | 12  | 「郷土文芸に就て」中村星湖 10 日完 |
| 6 4 | 「『万物昇天』の著者」吉江孤雁            |     |                     |
| 12  | 「最近文壇の動静」小島小夜夫             |     |                     |

- 13 「民謡の社会化」野口雨情 14日完
- 15 「元旦の大廟詣」長田幹彦
- 16 「自由詩の創始と其の発達」白鳥省吾
- 17 「感銘深かりし山村暮鳥氏の芸術」棚木一良 20日 2回完
- 20 「闇に泣く女」島川七石 8・10 160回完
- 4 30 「牧童物語」白石実三 5・6 4回完
- 5 26 「ジプシー」フーシキン原作  
よしもと二十一年（訳）
- 6 11 「俳女加賀の千代」在富山平野弥一
- 7 10 「魚眠洞隨筆を読むで」未翁
- 14 「曾我兄弟怨の太刀風」旭堂南陵演 15・5・1 239回完
- 30 「社会を掴む喜劇—五九郎劇の為に—」金子洋文
- 8 11 「仇同志」岡谷天芥
- 11 「薔は綻ぶ」鳥山香葉 15・2・10 160回完
- 19 「蓬壺集を読んで」鴻巣盛広 20日完
- 21 「北陸詩壇の出發」菊池亮 26日 2回完
- 9 3 「農民文学の提唱」小島小夜夫 5日 2回完
- 15 「転期にある小説」加藤祐策
- 15 「幼な子の星の夢」オスカ・ワイルド原作  
出口三郎 藤本指石（訳）
- 25 「小川未明氏の選集刊行の日に想ふ」西田痴 23日 5回完
- 11 3 新唱詩社詠草（短歌10首）
- 4 「新興の芸術」本田昂 5日完
- 26 「金沢歌壇に与ふ」板緑秀介
- 12 3 「九月」キアリング原作  
かかうじ訳
- 3 エッセイ「ダンスの夕」幽香梨 9日 4回完

（この年「北国歌壇」「北国俳壇」欄あり）

大正十五年（昭和元年）

- 1 1 「家庭憧れの春」三枝緑葉新作
- 4 「科学小説銅御殿」河端柳太郎 10日 5回完
- 7 「文芸の民衆化」田島幽峰
- 27 「文芸と階級に就いて」小島小夜夫 29日 3回完
- 29 「山村暮鳥氏のこと」村田信次 2・2 2回完
- 2 11 「ほ、笑み」緑山人作 7・6 135回未完
- 3 4 「社会批評の文学」大島卓爾 12日 7回完
- 18 「階級芸術について」本田昂 23日 4回完
- 26 「時代精神の芸術化」大島卓爾 4・7 9回完
- 4 9 「金沢詩壇」柴田勇夫
- 16 「平木二六氏の詩集「若冠」」未翁
- 5 1 「カフェーの或る夜」秋山荷葉 8日 3回完
- 2 「情焰地獄」福井志郎 9・24 123回完
- 27 「新興断片簡条書」喜多一二
- 6 5 「吾が郷土と『現代語短歌』」志村亮吉 8日 2回完
- 26 「芭蕉翁の句碑」桂井未翁 29日 2回完
- 7 7 「行春曲」額田六福作 8・29 47回未完
- 17 「ロシアの新進作家—ボリス、ピリニヤークを送る—」  
村田俊夫 27日 3回完
- 25 「千代尼と川柳」安川久流美
- 28 「短歌七首」暁鳥敏
- 8 4 「生活派の歌に就いて—啄木のこととも—」小林猛夫 5回完
- 6 「新興川柳詩野に就て」喜多一二 7日完
- 17 「三面悪相」ア、ル・エルマン作  
幽香梨訳 11・6 49回完
- 29 「芭蕉伝考」大河寥々 30回完
- 31 「懺悔小唄」水野鬮體作
- 26 「戦国秘譚」高橋掬太郎
- 10 6 「奥能の代表俳人井田寒厓に就て」桂井未翁 13日 6回完
- 20 詩「夜の道頓堀よ」喜多一二

- 12 5 戯曲「曠野」ア・トルストイ 村田 信久 訳 19日 8回完
- 11 「私の訳出と原作者に就いて（アレクセイ、トルストイの事）」  
村田信久 15日 3回完
- 21 「『一握の砂』その他」喜多一二 22日完  
（この年「北国俳壇」「北国歌壇」「北国俚謡」欄あり、その他小品、エッセイ、詩の投書作多し）

（昭和五十五年九月十六日受理）